

ハード交付金の活用事業

県営大謝名団地 (公営住宅等整備事業) (地域住宅政策推進事業(公営住宅整備関連))

県営大謝名団地は老朽化が著しく、構造・避難の安全性や居住性などの住機能が低下している。

このため居住水準や住環境の向上を図るため建替事業を行っている。平成28年10月に第1期が完成し、第2期、第3期についても順次建替予定である。

○ 総事業費 約66.8億円(うち国費46.1億円)

○ 事業期間：平成25年度から平成32年度



県営神森団地 (公営住宅等整備事業) (地域住宅政策推進事業(公営住宅整備関連))

県営神森団地は著しく老朽化しており、構造・避難の安全性や居住性などの住機能が低下していた。

このため居住水準や住環境の向上を図るため建替事業を行っている。平成27年6月には第1期が完成し、平成29年度には第2期が完成予定である。

○ 総事業費 約30.2億円(うち国費20.8億円)

○ 事業期間：平成25年度から平成29年度



ハード交付金の活用事業

沖縄県事業

県営伊覇団地 (公営住宅等整備事業) (地域住宅政策推進事業(公営住宅整備関連))

県営伊覇団地は伊覇土地区画整理事業区域内にあり、平成11年度に旧東風平町から県営住宅建設の要望があった。このため、町の造成工事完了後、平成26年度に基本・実施設計、平成27年度より工事着手し平成29年度完成を目指している。

- 総事業費 11.5億円(うち国費 8.0億円)
- 事業期間：平成26年度から平成29年度



完成予想図



建設場所

案内図

高層住宅外壁等改修工事 (公営住宅等ストック総合改善事業) (地域住宅政策推進事業(公営住宅改善関連))

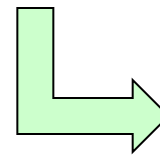
既設県営住宅における高層住棟の長寿命化を図ること等を目的に、外壁改修等の工事を実施している。平成24年度からこれまでに安岡市街地住宅、古波蔵第二市街地住宅の工事を完了し、今後、4市街地住宅(団地)を計画している。

- 総事業費 8.3億円(うち国費3.7億円)
- 事業期間：平成25年度から平成30年度



【整備前】

【整備後】



ハード交付金の活用事業

市町村事業（北部圏域）

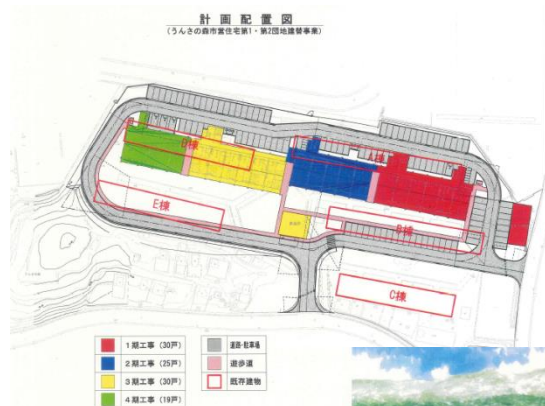
うんさの森市営住宅（三期工事） （公営住宅等整備事業）

うんさの森市営住宅第1・第2団地は、昭和51年3月に竣工した建物である。当該団地は、スラブや梁が劣化しコンクリート剥離の状況が見られ、住戸内においても天井等の剥離や設備の老朽化がみられるなど、相当程度の老朽化が進んでいたため、建替工事を実施した。

3期工事は1棟30戸と集会所の整備を行った。

○ 総事業費 6.9億円（うち国費4.7億円）

○ 事業期間：平成26年度から平成27年

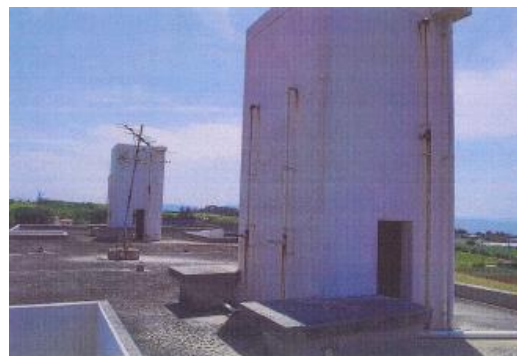


西崎団地、西江前団地外壁改修工事 （公営住宅ストック総合改善事業）

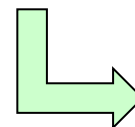
伊江村営西崎団地、西江前団地は、外壁の老朽化と塩害等の影響を受け改修が必要であった。屋上の防水等を実施することにより建物の長寿命化及び住環境の保持と居住者の安全確保を図った。

○ 総事業費 0.2億円（うち国費0.1億円）

○ 事業期間：平成26年度



【整備前】



ハード交付金の活用事業

市町村事業（中部圏域）

伊佐・伊利原市営住宅（二期工事） （公営住宅等整備事業）

伊佐市営住宅及び伊利原市営住宅は、築30余年を経過し老朽化が著しい等、良好な居住環境を供給できない状況にあるため、建替事業を実施し、伊利原市営住宅敷地に両市営住宅を統合し、3棟182戸を整備した。

二期工事は、新C棟61戸及び老人福祉センターの整備を行った。

○ 総事業費 15.5億円（うち国費10.2億円）

○ 事業期間：平成25年度から平成27年度

町営砂辺住宅（二期工事） （公営住宅等整備事業）

町営砂辺住宅は昭和48年及び49年に建設され、総戸数は72戸4棟である。築後30年以上を経過しており、躯体の老朽化が著しく、住宅設備も陳腐化が進行している状況であった。当該団地の建て替えにより、団地全体の居住水準向上や構造物の耐久性の確保を図り、周辺地域の景観形成を誘導する質の高い整備を行った。

○ 総事業費 4.5億円（うち国費3億円）

○ 事業期間：平成26年度から平成27年度



ハード交付金の活用事業

市町村事業（南部圏域）

座間味村営第11団地 （公営住宅等整備事業）

村管理の公営住宅は、現在64戸整備されている。一般賃貸住宅等が少なく、若年層の住宅困窮が高い。定住したくても、低廉な家賃で賃貸することが難しいことから島を離れる者も多い。

住民が安心・安全に暮らし、子育てができる環境整備を目的に公営住宅の整備を行った。

○ 総事業費 1億円（うち国費0.5億円）

○ 事業期間：平成25年度から平成26年



北大東村営南第2団地 （公営住宅等整備事業）

北大東村においては、人口が減少する一方で核家族化が進み、住宅需要は増加している。

当該団地において、村営住宅の建設を行うことにより、若年層等の島内定着を図り、過疎化の歯止めとするとともに、地域活性化を図る。

○ 総事業費 1.8億円（うち国費0.9億円）

○ 事業期間：平成24年度から平成25年度

概要図



ハード交付金の活用事業

市町村事業（宮古圏域）

城辺西城市営住宅 （公営住宅等整備事業）

城辺西城市営住宅（5，6，7棟）は、築30余年を経過し老朽化が著しいなど、良好な居住環境を供給できない状況にあるため、建替事業を実施し3棟30戸の整備をする。

- 総事業費 8.6億円（うち国費6.0億円）
- 事業期間：平成25年度から平成29年度



完成写真



【5号棟】

上野博愛市営住宅整備事業 （公営住宅ストック総合改善事業、地域住宅施策推進事業）

上野博愛市営住宅（1，2棟 8戸）は、平成6年に竣工後、築20年を経過している。海岸に近く台風、海風の影響が強く屋根瓦の落下、外壁の老朽化が進んでいる。良好な居住環境を供給できない状況にあるため、外壁の改修、雨戸設置事業を実施し、居住の長寿命化を図った。

- 総事業費 0.2億円（うち国費0.1億円）
- 事業期間：平成26年度



施工前



施工後

ハード交付金の活用事業

市町村事業（八重山圏域）

市営八島第二住宅 （公営住宅等整備事業）

石垣市八島地区は市街地近郊を埋め立て造成された地区であり漁港施設が集中している。平成21年度に6戸が建設され漁業後継者の育成や地域活性化へ一定の効果を果たしているが、戸数が少ないため、地域の漁協より公営住宅整備の要請があった。

平成25年度に公営住宅を整備し、地域住民の期待に応えた。

- 総事業費 1.2億円（うち国費0.8億円）
- 事業期間：平成25年度

完成写真



案内図



事業場所

町営上原第1団地 （公営住宅等整備事業）

竹富町上原地区は西表島西部に位置し、農業と観光サービス業が主な地域の産業である。観光サービス業に従事する若年層の住宅困窮率は非常に高い状況にあるが、地区内には一般賃貸住宅等が少ない状況である。

平成24年度及び25年度で1棟8戸の公営住宅を整備し、若年層の定住化を促進し同地区の振興発展を図った。

- 総事業費 1.3億円（うち国費0.9億円）
- 事業期間：平成24年度から平成25年度



事業場所

完成写真

